

平成28年度 被表彰教職員組織名簿(国公私共通)

No.	設立主体	都道府県	学校種	チーム名	ふりがな	活動内容	実践分野
1	公立	北海道	小学校	小樽市立稲穂小学校教職員一同	いなほ	管理職のリーダーシップの下、全校が一つのチームとなって、学校全体での授業改善による学習指導の充実に努めるとともに、近隣校と合同の初任段階教員の研修を実施するなど、組織的に指導力向上の取組を進め、評価を得ている。	一
2	公立	北海道	小学校	石狩市立花川小学校教職員一同	はなかわ	独自に設定した「学年別最低保障学力」を児童一人一人に身に付けさせるため、全校体制で学習規律の徹底を図るとともに、ICTの活用、朝や給食準備時間を活用した補助的な学習等を通して学力向上の取組を進め、成果を上げている。	一
3	公立	岩手県	中学校	盛岡市立下橋中学校教職員一同	しものほし	環境教育を「総合的な学習の時間」の中心に据え、教育活動を推進。平成8年度から全校でリサイクル活動に取り組み、平成10年度には環境学習を修学旅行に取り入れ、生徒会にエコ委員会を設立。	六
4	公立	岩手県	高等学校	岩手県立宮古工業高等学校教職員一同	みやここうぎょう	平成17年度から、工業専門と防災の学習を組み合わせ、宮古湾など地区毎の地形を反映した立体模型（津波模型）と造波装置を製作し、地域住民や小中学校を対象に疑似津波実演会を開催してきた。	四
5	公立	秋田県	小学校	由利本荘市立西目小学校教職員一同	にしめ	「新たな学びに関する教員の資質・能力向上のためのプロジェクト」実践フィールド校として、授業公開や発表等で多方面に発信し、評価を得ている。	一
6	公立	東京都	小学校	福生市立福生第五小学校教職員一同	ふっさだいご	産官学連携でタブレット端末を使用した授業に取り組むとともに、同端末を自宅に持ち帰らせて学習させ、その取組状況を職員室で把握するなど、家庭学習の成果を見える化することで学力向上につなげた。	一
7	公立	東京都	中学校	清瀬市立清瀬第二中学校教職員一同	きよせだいに	生徒の生活指導上の課題を①生活指導の組織的対応②教員の授業力向上③保護者・地域・外部機関との連携の三つの視点に重点を置き、課題解決に積極的に取り組んだ。	二
8	公立	東京都	特別支援学校	東京都立墨東特別支援学校教職員一同	ぼくとう	図書室及び図書コーナーを整備、図書館司書やボランティアとの連携、電子図書の導入などを進め、児童生徒の積極的な読書活動を推進し、教育効果をあげた。	一
9	公立	神奈川県	高等学校	田奈高等学校キャリア支援グループ就労支援チーム (神奈川県立田奈高等学校)	(たな)	一人ひとりの課題に合わせたきめ細やかな就労支援を粘り強く行うことで、進路未決定者が減少し、就職状況を改善する等の成果をあげた。	二
10	公立	三重県	中学校	松阪市立三雲中学校教職員一同	みくも	ICT機器を活用した教育の情報化をめざす先進的な研究実践に学校組織全体で継続して取り組んでいる。	一
11	公立	京都府	特別支援学校	京都府スーパーサポートセンター (京都府立宇治支援学校)	きょうとふすーぱーさぽーとせんたー(うじ)	府内全域の幼児児童生徒への一貫した支援を目的に、相談・研究・研修機能を活用し、特別支援教育推進拠点として活動。	五
12	公立	大阪府	高等学校	大阪府立吹田東高等学校教職員一同	すいたひがし	「豊かな言語力をはぐくむ」ことを目標に、著名な俳人を講師にむかえ、生徒全員が創作し、公募の賞に応募し入選。また、俳句短歌部は俳句甲子園に14年連続出場。	四
13	公立	大阪府	高等学校	活性化プロジェクト会議 (大阪府立勝山高等学校)	(かつやま)	協同的な学びの実践校での研修、講師招聘、校内研修、公開授業・研究協議会の開催を通して、生徒の姿から学ぶ教職員組織の構築、主体的・対話的で深い学びのある授業の実現に取り組んでいる。	一
14	公立	大阪府	高等学校	成城高等学校支援教育推進委員会 (成城高等学校)	(せいじょう)	支援を要する生徒を個々に支援するサポートチームを統括、重い自閉症A君が卒業、四肢の重い障がいのあるB君の自立と自己実現に寄与した。中学時代不登校生徒の90%が改善。	五
15	公立	大阪府	小学校	富田林市立彼方小学校教職員一同	おちかた	独自にチームサポート推進委員会を組織し、SSWや専門機関を加えたケース会議等を毎週開催。組織的、継続的に児童の課題に対応することで、不登校児童数が減少。	二
16	公立	大阪府	小学校	東大阪市立大蓮小学校教職員一同	おおはす	本市で初めて統合新設校として昨年度開校した。ICT機器を活用した集団づくりに取り組み、研究発表も行い、少子化による本市の統合のモデルとなっている学校である。	一
17	公立	和歌山県	高等学校	和歌山県立有田中央高等学校教職員一同	ありだちゅうおう	「有田中央高校イノベーション」に取り組み、地域社会や保護者とともに「有田中央高校地域協会」を設置し、地域社会の中核を担う若者を育てる活動を行っている。	六
18	公立	鳥取県	中学校	南部町立南部中学校教職員一同	なんぶ	コミュニティ・スクール指定校の強みを生かし、「まち未来科」等の地域住民の思いや願いを意識した教育課程実践に成果を上げている。	六
19	公立	愛媛県	中学校	八幡浜市立保内中学校教職員一同	ほない	小・中連携を基盤とした特色ある活動を地域や校区の高等学校と連携して実施しており、家庭教育の充実や生徒の健全育成、研修活動の推進が図られている。	六
20	公立	愛媛県	高等学校	愛媛県立三崎高等学校教職員一同	みさき	高校の魅力化と地域活性化との相乗効果を図り、地域の活性化に持続的に貢献するとともに、地域の担い手を育成することを目的とした活動を行っている。	六
21	公立	仙台市	小学校	仙台市立七郷小学校教職員一同	しちごう	平成25年度から4年間、文科省研究開発学校制度の指定を受け、東日本大震災の教訓や体験を基に「防災安全科」の創設をはじめとした新たな防災教育の研究開発に全校を挙げて取り組んだ。	一
22	公立	さいたま市	中学校	さいたま市立大宮八幡中学校教職員一同	おおみややはた	学校全体で、ESDの研究を通して、国際交流や難民支援活動、青年海外協力隊への支援、留学生との交流、JRC加盟校として国際交流活動等に取り組んでいる。	七

※実践分野の番号は、「一 学習指導」「二 生徒指導、進路指導」「三 体育、保健、給食指導」「四 特別活動、部活動指導による児童生徒育成」「五 特別支援教育」「六 地域連携・協働の推進」「七 ユネスコ活動、国際交流」「八 学校運営の改善」「九 その他」を示している。

No.	設立主体	都道府県	学校種	チーム名	ふりがな	活動内容	実践分野
23	公立	京都市	小学校	学力向上チーム (京都市立九条弘道小学校)	(くじょうこうどう)	学力向上を命題に教職員が一丸となり授業改善を推し進めるとともに、「個人カルテ」による児童の実態分析、「板書記録」による教師の自己評価の他、基礎基本の定着を目指した帯時間の設定、「ノート検定」等を実施。	一
24	私立	長崎県	高等学校	玉木学園長崎玉成高等学校教職員一同	ながさきぎょくせい	高等学校における特別支援教育に先進的に取り組み、教員の「対象生徒を面となって支える」意識の醸成と高い指導力により、教育成果を挙げている。	五